

「多文化交流プラザ」から
地震などの災害が発生したときには、多文化交流プラザに「岐阜市災害時多言語支援センター」が設置されるのをご存知でしょうか。母語による情報提供や避難所への通訳派遣など、情報不足や孤立によって不安になりがちな外国人被災者に安心していただけるよう、お手伝いします。


避難所巡回訓練の様子

「岐阜市立中央図書館」から
7月16日(土)に、岐阜県出身のミステリ作家で今年1月に直木賞を受賞された米澤穂信さんの講演会を開催しました! 岐阜市に住んでいた頃のエピソードや、小説を書きたいときの思いなどをお話し頂いた後、参加者からの質問にもたくさんお答えいただき、充実した2時間となりました。



出店者同士で朝の準備を手伝い合ったり、幅広い世代のお客さんと会話をしたり、ローカルならではの人との距離の近さが、出店していくとても楽しかったです!


oi shopさん

普段は柳ヶ瀬商店街で出店することが多いので、縁があることや、空間的な開放感が新鮮でした。初めて見に来てくれるお客さんが多くて嬉しかったです!


iwappenさん

MEDICOS NEWS VOL.06

① 「ぎふ古今」の本棚からおすすめの一冊

旅と文化をテーマに日本各地で現れては消えていく文化未満の現象を取り上げる「八画面文化会館」。そのvol.6が、岐阜を特集した「レトロビア岐阜」です。ほとんどアピールされていない岐阜のレトロな魅力をピックアップした極めてマニアックな一冊。柳ヶ瀬のほか、西柳ヶ瀬のネオンサインや、ハルビン街の成立、遊郭や赤線・青線の構造など、目の付け所が沢山、好きな人にとってはどっぷりハマれる本。さあ、あなたはハマれる? ハマれない?

② 図書館で来館者を迎える謎のマシーン!?

図書館のエントランスにある、冷蔵庫と電子レンジを足したようなマシーンをご存じでしょうか。ガラス窓の中には近未来的な空間が広がり、スイッチを押すとゴーッと音と立て青白く発光! さすがメディコスはSF感もすごい。「2022年宇宙の旅」へ、いざゆかん…! いえ、実はこれ、本の消毒機なのです。コロナ禍を機に導入され、数十秒で本の殺菌、消臭が完了する優れもの。マシーンの中で気持ちよさそうに消毒される本を眺めてみてください。

[みんなの森 ぎふメディアコスモス]
〒500-8076 岐阜市司町40-5
TEL.058-265-4101 <https://g-mediacosmos.jp/>
季刊 メディコス文化道 VOL.06 (2022年9月発行)
発行 / みんなの森 ぎふメディアコスモス
編集・デザイン / さかだちブックス(株式会社リトルクリエイティブセンター)

MEDICOS BUNKA MICH VOL.06 季刊

文化道 メディコス

岐阜の文化地図

【特集】
メディコス開館7周年記念アートイベント
「みんなの森の住人たち」をつくろう!
岐阜駅~金公園エリア

みんなの森
GIFU MEDIA COSMOS



メディコス掲示板「autumn」

総合プロデューサー
吉成信夫からのひとこと。


開館7周年記念「ゆったりカルチャー3days」は、前年のコンセプトをより鮮明にしたこと、内容の幅も盛り上がりも昨年を大きく上回りました。館内でアート作品を創作し、館外ではステージで熱狂。マルシェを楽しむたくさんの人々。同時に多発的にこういう動きが共時的にコラボしていたのは、メディコスの「多様性」そのもの。「みんなで楽しむみんなの森」という方向性を今後も大切にします。

「市民活動交流センター」から
開館7周年記念イベントの中で「将来のぎふのまちをテーマに段ボールに自由に絵を描く『どんどん段ボールタウン』を開催し、144組のご家族に参加いただきました。作品は10月に開催の「メディコスマツリーフムドキワイワイ」で展示予定。思い思いに描かれたぎふのまちをご覧ください!

「まちの人」の声
VOICE 01
河合ターニャさん
ミカくん
モナちゃん
公共空間でパフォーマンスすることはたまにありますが、ここは広くて綺麗で、やりやすかったです。何より、子どもたちがたくさん見てくれるのがいいところですね。

VOICE 02
A2Cさん
岐阜駅周辺で出会った人の声をお届けします!

岐阜のまちを編集するエディター(編集者)を育成する「メディコス編集講座」の1期生による、個性あふれるコラムをご紹介! コラムの全文はシビックプライドプレイス公式サイトからご覧いただけます。

[特集] FEATURE ~~~~~

メディコス開館7周年記念アートイベント 「みんなの森の住人たち」をつくろう!



[講師を勤めた6人のアーティスト]

加藤 誉使子さん
感謝の2日間でした! ものづくりの楽しさを教えてもらったような気がします。

早川 文彩さん
参加者のみなさんのものづくりが大好きなんだという気持ちが伝わってきました!

新井 真允子さん
しっかりとコンセプトがあるオリジナリティあふれる作品の数々に驚かされました。

中島 況晃さん
これまでメディコスにアートがなかったので、今回がいいきっかけかなれば嬉しいです。

渡辺 悠太さん
無心になって取り組むことの楽しさを忘れず、いろんなことに挑戦してほしいです。

Madblast Hiroさん
ものづくりをする子どもの目がキラキラしていたのが印象的でした!



メディコスの開館7周年を記念して、2022年7月16~18日に「ゆったりカルチャー3days」が開催されました。館内ではワークショップや、シビックプライドをテーマにしたトークイベントが行われ、広場では土日の2日間で計約100店舗が出店するマルシェ「ミチクサコスモス」が開催されるなど、盛りだくさんの3日間。中でも目玉企画は、アートイベント「みんなの森の住人たち」。岐阜ゆかりのアーティスト6名と11組の一般参加者が、「みんなの森の住人」たちを作りました。

参加者同士が刺激を与え合い、材料は紙製品の

みという制限の中で、360度どこから見ても楽しめる立体作品を生み出す過程は、講師も驚くほど「アートするエネルギー」に満ちあふれています。メディコスでは、今回のように2日間で10時間にもおよぶ、滞在型ワークショップの実施は初めてのこと。参加者たちが同じ空間で同じ時間を共有することで、どんなことが起きるのか。メディコスとしても実験的な企画でした。

参加者同士が刺激を与え合い、材料は紙製品の



個性豊かな
みんなの森の
住人たち
秋までメディコス館内に展示!

密着取材!
「みんなの森の住人たち」ができるまで
わたる 前原亘琉くん、政典さん、愛さん

小学1年生の亘琉くんは、普段からものづくり生きものが大好き! 自宅から色画用紙やお菓子の空き箱といった廃材など材料をたくさん集めて気合い十分の参加です。10時間におよんだ作品制作に密着取材させていただきました!

START /
モグラとトンビを作ろうと決めてきた亘琉くん。モグラをどうやって形にするか考え中…。
2h
モグラが完成! ポイントは動物と地面に見立てた筒状のバーツが分かれていること。
4h
モグラ完成の達成感から、気が変わって、トンビではなく、背景になる森の絵の制作に着手。
FINISH /
空とぶ恐竜、ブテラノドン完成! 大井から吊るせたらいいな…と展示方法も考えます。
7h
2日目スタート! ムササビとブテラノドンを作るために図鑑を持参し、まずは研究。

吉市 彩花さん
今回のワークショップの講師の1人である大学の先生に声を掛けていただき参加しました。正直、最初はイメージ通りに完成させられるのか不安でしたが、アーティストの方々の協力のお陰で納得いく仕上がりになりました!

寺西 歩果さん
2日間を終え、とても満足しています! 私たちが制作した作品は「みんなの気持ちを受け入れてくれる天使」というコンセプトなので、見る人が自分の気持ちを紙に書いて貼ってくれるような参加型の展示になれば嬉しいです。

シビックプライド コラム from メディコス編集講座

1 岐阜モーニング文化考

岐阜に暮らすなかで「やっぱりここに住んでいてよかった」と感じるもの。それは喫茶店のモーニングである。喫茶店のモーニングサービスは愛知県一宮市が発祥の地といわれおり、名古屋市が有名であるが、岐阜市も負けではない。



メディコス編集講座第1期生

小川 真貴子

和歌山生まれ。新潟出身の夫と2人暮らし。趣味は岐阜の喫茶店めぐりと山登り。



2 岐阜大仏様

私はお寺や神社が好きである。なぜかって? それは、心が浄化される気がするから。大仏様を拝むと自分の心を見透かされている気がする。そして、寺にある鐘をゴーンとなる。其の鐘の響きが、胸の奥に染み渡り、心が浄化された気持ちになる。



メディコス編集講座第1期生

テルミン

岐阜をこよなく愛し、人の繋がりを大切にしています。只今、郡上おどりにハマっている“踊り大好き”。



岐阜の 文化地図 CULTURAL MAP

[岐阜駅～金公園エリア]

06



2022年春にメディコス内にオープンしたシビックプライドプレイス「ぎふ古今」は、岐阜市の歴史・ひと・文化の情報や魅力が集まる文化拠点です。「まち歩きステーション」にある端末では、16のテーマからさまざまなスポットを探してオリジナルのまち歩きマップが作れます。今回は、さかだちブックス編集部が選んだ「岐阜駅～金公園エリア」のマップを大公開！

① THE GIFTS SHOP

テーマ／おみやげ（紙・あかり）

食品から雑貨、家具まで、県内の地場産業によって生み出された、“MADE IN 岐阜”的逸品がそろうライフスタイルショップ。年間を通じて、季節や行事に合わせたフェアを開催しており、岐阜のものづくり文化の豊かさを実感することができる。JR岐阜駅改札すぐとアクセスも便利で、大切な人への贈り物や、観光のおみやげ選びにもぴったり。岐阜らしさ満載のオリジナルグッズも手に入る。

岐阜市橋本町1-10-1
アクティブG 2F
10:00～19:00
アクティブG休館日は休み
TEL.058-212-3255



② 丸窓電車

テーマ／歴史的建造物

構造形の窓と赤い車体が特徴の丸窓電車（モ513号車）は、大正15（1926）年に製造され、平成17（2005）年の廃線までの約80年間、路面電車として岐阜市内を運行していた。翌年から金公園に保存展示され、令和元（2019）年には市の重要文化財に指定された。同年、JR岐阜駅北口駅前広場完成10周年を記念して、JR岐阜駅北口広場に移設。現在は市の玄関口の新たなシンボルとなっている。



③ 玉宮町

テーマ／カルチャー

JR岐阜駅北に位置するエリアで、岐阜の酒文化の発信地。2000年頃はハイブランドショップやセレクトショップが立ち並ぶファッショントリートとして栄えたが、現在は殆どが飲食店となり、岐阜市最大の飲食街を形成。大衆居酒屋を中心に、和食、中華、洋食とあらゆるジャンルの飲食店がひしめき合い、夕方からは会社員や学生らで賑わう。駅へのアクセスも良好で、はしご酒ができるのも魅力。



④ PIZZERIA E TRATTORIA DA ACHIU

テーマ／新たな食文化

真のナポリピッツァ協会や日本ナポリピッツァ職人協会から認定された本物のナポリピッツァが味わえる店。味や風味を追求して選び抜いた素材を使い、専用薪窯で焼き上げるピッツァが客を魅了。『フェラリーニ』は牛乳チーズやカチョカバロ、最高級豚バラのハム「パンчетта・コッタ・ドルチェ」などがのった絶品の一枚。マルゲリータやクラフトフォルマッジなどの定番ピザも人気。

岐阜市神田町7-17神田ビル1F
11:30～14:30 (LO 14:00)
17:30～22:00 (LO 21:00)
月曜定休
TEL.058-266-1116



⑤ 亜細亜小皿料理 green yang

テーマ／新たな食文化

令和2（2020）年、岐阜市文化センターの1階にオープンしたアジア料理の店。縁に囲まれた金公園の一角に位置し、開放的な雰囲気の中で食事が楽しめる。ランチは担々麺や海南鶏飯などの麺飯料理や飲茶のコース、ディナーは小皿料理のアラカルトや中国廣東料理をベースに各国のスパイスなどを使用した料理のコースが味わえる。紹興酒やワインなどのお酒をカウンターで楽しむのもおすすめ。

岐阜市神田町5-7-2
11:00～14:00, 17:00～22:00
土曜～22:00, 日11:00～21:00
月曜定休
TEL.058-265-3458



⑥ 円徳寺

テーマ／信長と道三

岐阜城主であった織田信長や孫の秀信ゆかりの寺で、現在の岐阜市長旗付近にあった浄泉坊が前身といわれる。天文16（1547）年、織田信秀が岐阜に攻め入り、斎藤道三に大敗した際に出た多くの戦死者を弔う織田塚が今も境内に安置されている。永禄7（1564）年に信長が寄進したとされる梵鐘や、永禄10（1567）年に信長が門前に立てた「楽市場・定」の制札などが寺宝として残されている。

岐阜市神田町6-24
9:00～17:00
無休
TEL.058-265-3575



⑦ cafe 旅人の木

テーマ／カフェ

旅人がひと休みするように、立ち寄った人たちにやすらぎと癒しのひと時を与えてくれるカフェ。カウンター席からは、主人が自家焙煎した豆を使って一杯ずつ愛でるようにコーヒーを淹れる様子が眺められる。ドリンクのおともには手づくりのおやつを。旬のフルーツを使ったタルトやケーキは絶品で、ティーアウトも可能。丁寧に焙煎されたコーヒー豆やドリップバッグを購入することもできる。

岐阜市金町5-3-4
13:00～19:00 (LO18:30)
水・木・金曜定休 ※臨時休業あり



⑧ 洋食喫茶 かまた

テーマ／岐阜の定番食

昭和23（1948）年に柳ヶ瀬で創業し、移転を経て70年以上愛される洋食喫茶。赤いベルベットのソファとレトロなライトが、歴史を重ねた店の雰囲気にマッチする。現在は3代目の店主が先代の想いと味を継ぐ。看板メニューは鉄板ナポリタンとオムライス。名物の厚焼き玉子サンドも捨てがたい。学校帰りの女子高生から近所のお年寄りまで気軽に立ち寄れる、地元になくてはならない名店だ。

岐阜市神田町6-16
11:30～20:00
(木、日、祝日は17:00まで)
月曜定休 (祝日の場合は火曜休)
TEL.058-262-4067



⑨ 岐阜岡女堂

テーマ／ぎふ・スイーツ

戦後から徹明通に店を構える和菓子屋。ショーケースには不動の人気No.1である「大納言」、定番の「金時」、大粒の「おたふく」、鮮やかな緑色の「青えんどう」など、色とりどりの甘納豆が並ぶ。4日間かけて丁寧に作る創業以来の製法が受け継がれ、一粒一粒のふんわりとした食感と、じんわり広がる蜜の優しい甘みの虜になると間違いない。少量販売もしてくれるので、小腹がすいた時にどうぞ。

岐阜市徹明通1-8
9:00～20:00
第4木曜、毎月最終日曜定休
TEL.058-263-0471



岐阜駅～金公園
エリアの

まち歩きマップ

岐阜市は戦後復興が早く、現在のJR岐阜駅周辺も昭和24（1949）年頃には全国有数の織維問屋街が形成されました。金華橋通りや長良橋通りなど主要道も整備され、昭和51（1976）年に名鉄岐阜駅前に東海地方初のバルコが開業（平成18年閉店）するなど、岐阜市の玄関口として栄えました。現在は駅前や金公園の再開発が行われ、新たな景観に生まれ変わることのエリアを、マップを片手にその歴史をとりながら、めぐってみましょう。



岐阜駅～金公園エリアの 歴史ギャラリー

大正～昭和（戦前）



昭和（戦後）～昭和末



平成～令和



岐阜駅～金公園エリアの 未来予想図

性格の違うまちや通りがそれぞれに発展 このエリアを都市形成の視点から考えると、細かな区画がひしめき合い、人間規模で発展してきた織維問屋街・人懐っこい性格の玉宮町・都市軸として整備された金華橋通りに実用の長良橋通りと、性格の異なるまちや通りが互いに影響しあって発展してきたことがわかります。今後も各々が新たなまちの役割を担っていくんですね。

金華橋通りの4車線を公園に！？

特に8車線の道路幅を持つ金華橋通りは、戦後、岐阜市の象徴として整備されました。しかし、自動運転が発達し、カーシェアリングが普及するこれからは、もうこれほどの車線は必要ありません。リニューアル中の金公園から続くよう半分の車線を公園として整備し、新しい形で次の時代の岐阜市のシンボルになると面白いと想像しています。

未来予想をした人 /

よしむか
出村嘉史さん
岐阜大学社会システム経営学環教授。
都市形成史・景観計画を専門とする。
最近始めた新しい趣味はウクレレ。

